



みんなで子育てNo.12

親のゆとりが子どもの自主性を育てる

岐阜市立島小学校

親子のコミュニケーション講座

(講演会型
+サロン型)

「片づけを通して親子のコミュニケーションを図る方法を学ぶ」

開催日 12月12日(水)
講師：マスターライフオーガ
ナイザー 竹内靖子氏

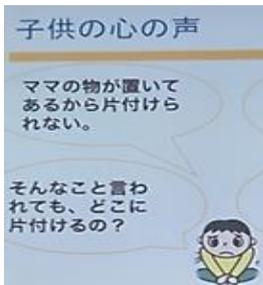


意識の確認のための会話が必要だと気づきます。

- ・「早く片付けて」の「早く」を抜いてみると、一方通行にならない。
 - ・右脳・左脳のインプット・アウトプットを知り、子どものタイプを確認する。
- 「片づけ」は生きる力を身に付ける。「片づける」とは、「元の位置に戻す」が基本です。

○就職で重要視されるコミュニケーション・主体性を子どもにつけるには

- ・「片づけやった?」「片付けなさい」は一方通行。「片付けしづらいのはどこ?」と聞けば、子どもが課題を明らかにしようと考ええる。
- ・「あなたの普通は子どもと同じですか?」と聞かれると、子どもと意



コメント
親が思う事と子どもが思う事が同じではないと考えれば、話し合っ確認することで、子どもは自分が尊重されていると考え、主体的に動こうとする心構えになっていくということがよくわかるお話でした。講師のお話はうなずくことばかり。お母さんの自由な時間が大事と言うのは納得です。

親のゆとりがあるからこそ、子どもにじっくり関われるということですね。委員長さんの願う講座になったようです。

茶菓子の準備でサロンのお話が弾みました。



<感想等>

- ・部屋が汚いといつもイライラして子ども達に「片付けなさい!!」と怒ってばかりいた事を反省しました。自分の目線で話すのではなく、子どもの目線に立って一緒に話し合いながら、「元の場所にもどす」ということを意識してやっていきたいと思いました。
- ・子どもとの接し方を今日から変えていかなければいけない。私のリラックスする時間を取るようにすること。今まで考えている事とは違ったので、とても勉強になり、よい講座でした。
- ・楽しく聞かせていただきました。どのように子どものものを片づけようか悩んでいましたが、家に帰って子どもに聞いてみます。ありがとうございました。自分のやりたい事、なりたい自分と向き合ってみます。

講師の決め方を聞いてみると、委員長さん自身が研修で聞いて学べた経験があり、「皆さんにも聞いてほしいという願いがある」とのことでした。他の学級でも同じように考えてみえる委員長さんがたくさんいました。年間の計画に自分の願いが入るとというのがとてもいいですね。また、サロン形式での実施が効果を上げています。

★引き続きでは、「子育てサロン型」を実践するよう伝えてください

家庭教育学級では、子育てに関する学びや子育ての不安を交流することを大切にしています。そのために大いに役立つのが子育てサロンです。多くの学級で実践されてきています。前回も紹介しましたが、来年度に向けての引継ぎにも、年間計画に入れてぜひ実施するように伝えてください。

【子育てサロン型の方法・特徴】

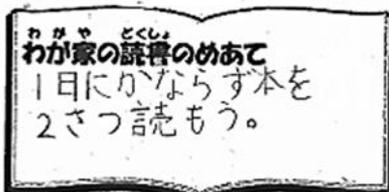
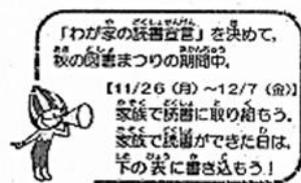
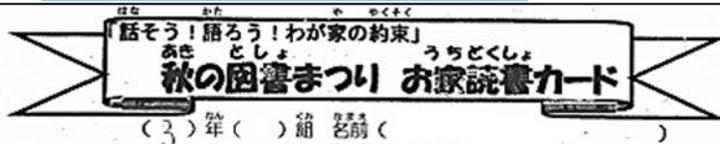
◇小グループの和気あいあいとした雰囲気の中で、互いの経験や悩みなどを交流し、子育てのヒントをつかむ。

【子育てサロン型のメリット】

- ◇話をすることによって悩みや不安の軽減、解消ができ、自分の子育てに安心感や自信をもつことができる。
- ◇保護者同士のつながりができやすい。

【子育てサロン型の取組のポイント】

- ◇少人数(5~8人)で、進行役をおく。
- ◇話しやすい雰囲気づくりを心がける。
- ◇あらかじめテーマを設定してもよい。
- ◇茶菓子等があると、和やかに話ができる。
- ◇体験活動型や講演会型と組み合わせると実践しやすい。



【取り組みの内容】

昨年度も実施。秋の図書まつりに合わせて、11月26日から12月7日の2週間に、家庭での読書を進めるためのカードを作成しました。家族で一緒に読書をしようという取り組みです。方法は

- ①家族で「我が家の読書のめあて」を決める。
- ②家族で読書ができた日には、題名や読んだ時間を表に書き込む
- ③取組の最後には子どもから家族へ、家族から子どもへメッセージを書く
- ④取組が終わったら担任に提出する。

記入欄と一緒に読んだ人があり、1年生の子が弟・妹と書いている場合があり、読み聞かせをしている姿は微笑ましいですね。

日	日にち	本の題名	一緒に読んだ人	読書の時間
1	11/27 (火)	みずたまのたび シンデレラ	お父さん	20分
2	11/28 (水)	くやびぬ りゅうの目のなみた	お母さん	30分
3	11/29 (木)	ダイアナ キュリー-ふじん	お母さん	40分
4	11/30 (金)	マザーテレサ モーツァルト	お父さん	40分
5	12/1 (月)	ガンジー クレオパトラ	お母さん	40分
6	12/2 (火)	ココシャネル ガリレオ	お母さん	40分
7	12/3 (水)	さいこのなみた ベートーヴェン	お父さん	30分

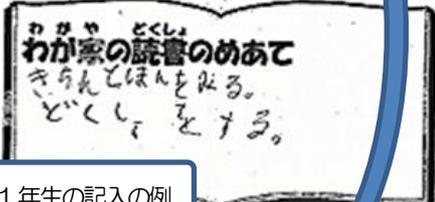
子どもから家族へのメッセージ

おうちのひとと読書するのは、いつもよりくわいしく読書ができたので、また、おうちのひとと読書をしたいです。

家族から子どもへのメッセージ

一緒に読書をして、感想を話す事で、楽しかったり子どもが成長を感じることができました。時間をたっぷり、こころがくも一緒に読書しましょう。

『読書宣言』を決めて、つりの期間中、12/26 (月)~12/7 (金)、後で読書に取り組み、家族で読書ができた日は、下の表に書き込もう!



1年生の記入の例

本の題名	一緒に読んだ人	読書の時間
赤ずきん	はは・弟	10分
いばとららの3年バット	はは・弟・妹	10分
どうぶつのお赤ちゃん リス	はは・妹・弟	12分

子どもから家族へのメッセージ

- ・お母さんとぼくで音読しあってとても楽しかったです。またかりたいです。一人でも読むのが楽しかったです。(2年生)
- ・だんだん本を読んでいって、自分が好きな本を見つけたので良かったです。一緒に本を家の人と読めてうれしかったです。(4年生)
- ・久しぶりにお母さんと読書ができたのでうれしいし、また機会があつたら読みたいと思いました。(5年生)

家族から子どもへのメッセージ

- ・自分から「いっしょに読もう」と進んで読書することができました。面白い話の本を家族で笑いながら読んだり、聞いたりすることができて良かったと思いました。(2年生)
- ・時間を見つけて親子読書、これからも続けようね。母より。一緒に読んで楽しかったです。また一緒に読もうね。父より。(3年生)
- ・久しぶりに一緒に本を読む時間ができました。知らないうちに難しい言葉の意味を理解できるようになっていて驚いたり、本の結末について一緒に笑ったり、納得したりして、とても楽しい読書週間になりました。(5年生)

コメント

図書まつりという期間限定で取り組むことで、集中することができます。子どもだけで読書するのではなく、家族で読むという機会を作る点が素晴らしいですね。家族で読書の良さを感じたり、一緒に読むことで話し合うきっかけになったりしています。特に高学年では、普段一緒に読むということがないので、今回の期間は保護者にとっても楽しい時間となったようですね。

毎日、本を借りることで、自分が興味を持てる本に出逢った子もいるようです。家族からのメッセージはとても丁寧に書かれていて、子どもへの思いもよく出ていました。まさに「話そう! 語ろう! わが家の約束」運動のねらい通りの取組ですね。

「みんなで子育てⅡ家庭教育プログラム」
より
お手伝いに関する資料

こんなことはありませんか・・・？

4歳のりょうくんには、「くつそろえ」という家族で決めたお手伝いがあります。自分のくつはもちろん、お父さんの大きなくつも、妹の小さなサンダルも、いつもきれいにそろえてくれていました。

ところが最近・・・、新しいおもちゃで遊びたくて、お母さんがどんなに注意しても「あとで」「わかってる」と言うばかり。そういえば、前に自分で言出した「カーテン開め」もすくなくやむやみになってしまったな、と思うとお母さんはイライラ・・・。



お手伝いをするというのは、人のために働くことにつながります。その最初をどのようにするのか、できないときどうしたらいいのかを、サロンで交流するとヒントが見つかるようです。

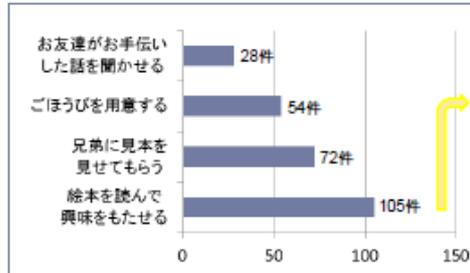
参考にしてください。

Ⅱ-1 お手伝い（乳幼児期）

資料編

〇子どもがお手伝いをしてくれるための「工夫」とは？

<お手伝いに興味をもつきっかけになった絵本>



第1位
「しろくまちゃんのおつかい」
わかやま けん
(こぐま社)



第2位
「はじめてのおつかい」
簡井 頼子・林 明子
(福音館書店)

その他意見

- ☆やってくれたら「ありがとう！お母さんとっても助かるわ！」と大きに喜ぶ。
- ☆多少邪魔になっても、絶対に文句を言わない。
- ☆年齢や能力に合ったお手伝いを用意する。
- ☆帰宅後の主人に話し、その場でほめてもらう。
- ☆毎月、家のお手伝いを1つ決めて、達成したらカレンダーにご褒美シールを貼る。

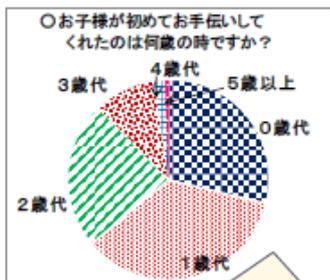


Ⅱ-1 お手伝い（乳幼児期）

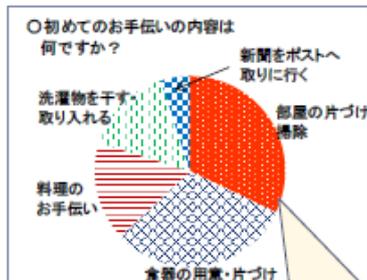
資料編

日本文教教育研究会 mi:e[ミーテ] <http://mi-te.jp>

子どもがお手伝いをしてくれることは、親にとってうれしいことですし、子ども自身にとっても、自立の第一歩となる身に付けたい力ですね。子どものお手伝いの実態や親の願いなど紹介します！



初めてお手伝いしたのは、0歳、1歳までで6割以上占めています。



部屋の片づけ・掃除が多くなっているのは、「自分で使ったものは自分で片付ける習慣を身に付ける」「片付けることは物を大切にすることにつながる」という親の願いも反映されているようです。

「子どもがよくしてくれるお手伝い」と「親がしてほしいお手伝い」ベスト3

	子どもがしてくれる	割合	親がしてほしい	割合
1位	食器の用意・片付け	23.0	部屋の片づけ・掃除	33.2
2位	料理のお手伝い	16.5	料理のお手伝い	15.4
3位	部屋の片づけ・掃除	12.6	食器の用意・片付け	14.4



日本文教教育研究会 mi:e[ミーテ] <http://mi-te.jp>

子どもに手伝いをさせるポイントを伝授しよう！
その1 任せたら見守る
その2 失敗しても叱らない。一緒にやって教える。
その3 やりたい手伝いは尊重する。
その4 やり終えたら「ありがとう。」「助かった。」と感謝の気持ちを伝える。
そして、一番大切なのは、毎日続けることを強制しないことじゃ。完璧を求めるとお互い大変だからのう。

この「みんなで子育てⅡ」は各所・園・校に1冊ずつ配布されており、Ⅲもあります。
冊子がなくても、インターネットで「岐阜県ホームページ」を検索して、→「教育・文化・スポーツ・青少年」→「社会教育」→「家庭教育プログラム」→『「みんなで子育てⅡ」家庭教育プログラム乳幼児期編』と進んでいけば見るすることができます。
「家庭教育学級運営マニュアル(改訂版)みんなで子育て」も見るすることができます。どちらもダウンロードもできます。一度ご覧になって次年度の引継ぎにもご利用ください。

★お知らせです。

2019年度 家庭教育学級リーダー研修会の日程です。次年度の方にお伝えください。

幼・保の部	2019年5月27日(月)	9:30~12:00	会場：岐阜県総合教育センター
小学校の部	2019年5月13日(月)	9:30~12:00	大会議室(4F)
中学校の部	2019年5月27日(月)	14:00~16:30	(岐阜市藪田南5-9-1)